

おがわ なおこ  
小川 直子

Ogawa Naoko



人間生活学部 食物栄養学科 講師

## 研究者略歴

○生年月

○学歴

○学位

○主な職歴

○専門分野

○所属学会

○担当授業科目

○現在の研究

徳島文理大学大学院家政学研究科食物学専攻修士課程修了（2000.3.）

修士（食物学）（徳島文理大学/2000.3.）

博士（学術）（徳島文理大学/2009.3.）

徳島文理大学家政学部実験助手兼事務職員

徳島文理大学人間生活学部助手（2003.4.～2007.3.）

徳島文理大学人間生活学部助教（2007.4.～2015.3.）

徳島文理大学人間生活学部講師（2015.4.～）

栄養学・栄養教育論

日本栄養食糧学会 日本栄養改善学会 日本病態栄養学会

日本食育学会 日本食育学会

栄養教育論Ⅰ，栄養教育論Ⅱ，栄養教育論Ⅲ

栄養教育論実習Ⅰ，栄養教育論実習Ⅱ

栄養教育論演習

・低炭水化物食が血糖値の変動及び行動意思の継続に及ぼす影響について

・スマートフォンを用いた糖尿病予防のための栄養教育法の実践

## 主な業績

○主な学会

・社会活動等

① 日本栄養士会（徳島支部）理事（研究教育）（2016.6.～）

② 日本栄養士会（徳島支部）生涯学習委員（研究教育）（2008.4.～2012.3.）

③ 徳島県内の一般住民に対する糖尿病予防教室（2014.～2016.）

④ 講演会の講師（乳幼児の食育について）（2005.2回，2009.1回）

⑤ 徳島保健所朝食に関する作品コンクール選考委員（2008）

（主な学会発表）

①スマートフォンを利用した糖尿病予防に向けた栄養教育法の実践（2016）②スマートフォンを用いた糖尿病予防のための栄養教育法の実践（2015）③自記式食事歴法質問票

BDHQ10yによる小学生の食習慣からみた生活習慣病予防対策の検討（2015）④夕食の主食

を抜くことによる低炭水化物食が糖尿病指標に及ぼす影響について（2014）⑤食品中に存在

する新たな骨吸収抑制物質の検出（2013）⑥糖尿病予防に向けた行動変容に影響を及ぼ

す要因についての検討（2012）⑦糖尿病予防教室参加者の体格指標、生化学データの変動

とアンケート調査による主観的意識変化の関係（2011）

○主な研究論文

・著書

①糖尿病および骨粗鬆症関連指標に及ぼす難消化性デキストリン負荷の影響について徳島文理大学研究紀要第87号P.35-47. 2014.3

②Preventive effect of metallothionein against DNA and lipid metabolic damages in dyslipidemic mice under repeated mild stress: The Journal of Medical Investigation Vol.60.240-248.2013.8

③ 難消化性デキストリン負荷による糖尿病リスクの軽減効果について：徳島文理大学研究紀要第85号P.77-86. 2013.3

④児童に対する栄養教育方法の一考察－保護者の子供の健康づくりに対する意識からの検討食育学研究Vol.6 No.2 27-35. 2011

⑤Inhibition of collagenolytic cathepsins by  $\beta$ -lactoglobulin in milk and its suppressive effect on bone resorption. J Nutr Sci Vitaminol. 55(3).264-270.2009

⑥骨粗鬆症予防における牛乳摂取の効果（レビュー）徳島文理大学研究紀要第75号.189-194. 2008

⑦著書：PDCAに基づく給食経営管理実習（化学同人）2009.